

公開シンポジウム

九州の森は今・・・

プログラム

10：00ごあいさつ

《講演》

10：05自然の森も衰える？ 田内裕之（森林総合研究所）

10：30自然に森は再生する？ 伊藤 哲（宮崎大学）

10：55森が再生できる所は予測できる？ 小田三保（宮崎県）

11：20シカは森の再生を妨げる？ 野宮治人（森林総合研究所）

11：45総合質疑

12：00閉会

日時：2009年11月21日（土）

場所：宮崎市民プラザ4階ギャラリー

主催：独立行政法人 森林総合研究所

共催：農林水産省 農林水産技術会議

九州森林管理局

*参加無料です。裏面の詳細をご覧ください。

ごあいさつ

- 九州地方には豊かな森が広がり、古くから林業が盛んな土地です。ところが林業の低迷や担い手の減少によって、森は様々な問題を抱えています。
- 手入れされなくなった里山はどうなるのでしょうか？植林した森を伐採したままにするとうなるのでしょうか？森は再生するのでしょうか？増えすぎたシカは森にどのような影響を与えるのでしょうか？
- 私たちは、九州の森の実態や管理・保全のあり方を長く研究してきました。このシンポジウムでは、現在、九州の森で生じている問題と、それらに対する研究の取り組みを皆さんにご紹介いたします。豊かな森を取り戻すにはどうしたらいいか、一緒に考えて頂ければと思います

このシンポジウムは、農林水産省農林水産技術会議実用技術開発事業「広葉樹林化のための更新予測および誘導技術の開発」の成果の一部です。